



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）66 名（うち指導医数 44 名）
- 研修医数 1 年目 8 名 2 年目 6 名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学・浜松医科大学・千葉大学・東京慈恵会医科大学・
琉球大学・秋田大学・信州大学・日本大学・大分大学・
山梨大学・岩手医科大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 脳神経内科 腎臓内科
糖尿病・代謝内科 血液内科 リウマチ科 緩和ケア内科 外科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 臨床腫瘍科
整形外科 形成外科 脳神経外科 心臓血管外科 耳鼻咽喉科 眼科 泌尿器科 婦人科 皮膚科 麻酔科 放射線科
リハビリテーション科 救急科 病理診断科 歯科口腔外科
- 1 日平均外来患者数 575 名 ● 1 日平均入院患者数 320 名
- 主な認定施設 整形外科専門医研修施設、日本消化器病学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、
日本消化器外科学会専門医修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本内科学会認定教育関連病院



研修プログラムの特色

当院では、初期研修の2年間は、将来どの専攻分野に進んでも困らないよう、基本的な臨床能力を習得する期間としています。

厚生労働省が定める到達目標をこの2年間で達成し、「3年目に独り立ちできること」をスローガンとしています。専門医になったときの實力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてしています。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思います。

常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ科全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっております。救急ローテート時や日当直では、ファーストタッチから一連の検査オーダー、診断までを研修医が主体的に行います。もちろん指導医や上級医がしっかりサポート・指導をしてくれますので安心して研修に臨むことができ、3年目独り立ちに向けて臨床能力を養うことができます。また、2020年度より必須となる産婦人科・小児科・精神科・地域医療については、専門的な知識を十分に経験できる施設と連携しています。



プログラム 例 彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科		消化器内科		循環器内科		外科		救急		麻酔（当院必修）	
2年目▶	地域医療	精神科	産婦人科	小児科	救急	調整月	自由選択科目※1科につき最長12週まで					

○必修：内科 24 週（内科、消化器内科、循環器内科）、救急科 12 週、外科 8 週、麻酔科 8 週、地域医療 4 週（外来 4 週）、精神科 4 週、小児科 4 週（外来 4 週）、産婦人科 4 週、調整科 4 週（大型連休・有給等で研修日数が満たなかった科がある場合に調整月にて 4 週の研修を行う）

○自由選択 24 週（内科、消化器内科、循環器内科、救急科、外科、麻酔科、放射線科、整形外科、泌尿器科、脳外科、リウマチ科、血液内科、緩和ケア内科、病理診断科）

※産婦人科、小児科、精神科、地域医療については、連携病院との調整 ※自由選択は、1 科につき最長 12 週まで ※外来研修は内科・小児科・地域医療にて対応



研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1 年次 : 45 万円 2 年次 : 50 万円（月額）
- 諸 手 当 ▶ 当直手当 1 年 : 1 万 5 千円 2 年 : 2 万 5 千円
- 保 険 ▶ 社会保険、厚生年金保険、医師賠償責任保険（病院にて加入）、
労働者災害補償保険・雇用保険
- 勤務時間 ▶ ①月～金 9 時～17 時 30 分 / 土 9 時～13 時（隔週）②月～金 9 時～18 時
- 当 直 ▶ あり 土日含む日当直あり
- 休 暇 ▶ 日曜、祝祭日、年末年始（12/30 午後～1/3 迄）・有給休暇
- 宿 舎 ▶ 住宅貸与、家賃補助有（5 万円まで / 月）
- そ の 他 ▶ 学会・研修会等参加の費用負担あり（8 万円まで / 年）3 回 / 年（公休扱い）・
医療費見舞金制度（月 3 万円まで）・保養所・院内旅行・その他

主な臨床研修協力病院
協力施設

- ・小池内科クリニック（地域医療）
- ・平戸市民病院（長崎・地域医療）
- ・大宮厚生病院（精神科）
- ・上尾中央総合病院（小児科・産婦人科）
- ・埼玉医科大学総合医療センター（小児科・産婦人科）
- ・柏厚生総合病院（小児科・8 週）
- ・越谷市立病院（小児科・産婦人科）
- ・国立病院機構埼玉病院（小児科）
- ・自治医科大学付属さいたま医療センター（産婦人科）
- ・国立病院機構西埼玉中央病院（産婦人科） 他



当院の魅力

ジェネラリスト養成を目指して！

当院は、2015年7月に新築移転し、院内は木と水をイメージしたインテリアで、病院にいることを忘れるような安らぎの環境を作っています。また、院内・院外での職員交流が盛んに行われ、診療科や他職種間との関係性も良好であり、公私ともに充実した2年間を過ごせる環境となっています。

①救急部での幅広い症例経験

新病院移転後、急性期対応型に進化した救急部は、救急搬送患者を年間6500件以上を受け入れています。1次、2次救急を中心に、小児科・産科以外の患者すべての受入れを目指しています。救急部の研修では、「3年目に独り立ちできていること」を強く意識し、様々な疾患の初期対応をファーストタッチから経験できます。

②充実した研修環境

医局のデスクの他に、研修医同士、上級医とのコミュニケーションの場として研修医室を用意しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。

③メンター制度

メンター1人につき研修医3、4人を担当し、懇親会や普段の声掛けを通じ、仕事やプライベートの悩みを相談するなどサポート役を担っています。また、定期的な面談を行い、全体での情報共有・パイプ役に努めています。

④ off the job training のサポートも充実

モーニングレクチャー／ランチョンセミナー／院内学会／EBMセミナー／ICU勉強会／救急車同乗実習など、各種開催



先輩研修医から message

当院では、研修医が働きやすい環境が整えられています。初期研修はわからないことだらけで不安な日々ですが、指導医の先生方、周りのスタッフ、そして先輩研修医の方達が優しく教えてくれます。また、いわゆる common disease を中心に研修全体を通してみることができます。当直や救急科のローテートでも、肺炎を始めとしたありふれた疾患から、稀な疾患に出会うこともあります。研修2年間を終えた頃には、自信を持って common disease に対応できるようになると思います。3年目に独り立ちをするためにも、当院で研修することは今後の糧になるはずです。ぜひ一度当院に見学にお越しください。



研修医1年目
谷口 幸裕



先輩研修医から message

当院の魅力は、程よい規模の病院であるため職員同士のコミュニケーションが活発で、風通しが非常に良い点です。指導医の先生方は教育熱心で、日々の症例や進路に関しても気軽に相談できます。また、困ったことがあればコメディカルの方々もさりげなくサポートしてくださり、病院全体で研修医を育てる雰囲気があります。その為どの科で研修していても、まだまだ未熟な私達が試行錯誤し、失敗しながらも積極的に学ぼうとする姿勢を温かく見守ってくれるので、非常に心強いです。整ったカリキュラムの中で、自主性も尊重してもらえる伸び伸びとした職場です。ぜひ一度見学に来ていただければ幸いです。



研修医1年目
春野 綾子



女性医師支援コーナー

- 育児休業制度
- 短時間勤務制度
- 深夜業務の制限
- 時間外労働時間の制限

- 子の看護休暇制度
- 病院のすぐ横に、24時間保育室を運営
- 医局に女性専用ラウンジ設置



連絡先 彩の国東大宮メディカルセンター

臨床研修センター 野口・大久保

〒331-8577 さいたま市北区土呂町 1522

TEL ▶ 048-665-6111 (代表) FAX ▶ 048-665-6112
E-mail ▶ kenshui@shmc.jp
URL ▶ <http://www.shmc.jp/>
アクセス ▶ JR 宇都宮線 土呂駅から徒歩 11 分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学について
病院見学の申込みは、随時受付けております。病院HPの応募フォームからお申込みください。
春・夏のレジナビフェアにも参加いたしますので、ぜひブースにお立ち寄り下さい。